

# ねっとわーく



22. 9. 16 No.19

◆柏屋先生、提案授業ありがとうございました(^^)♪

運動会が終わり、4年生は交歓音楽会等に向けて、忙しさが増しているところでしたが、柏屋先生、提案授業ありがとうございました。

2学期に入り、1学期の反省を受けて(PDCA→)の提案授業ということで、学ぶべき点が多々ありました。本当にありがとうございました。

以下、事後研で話し合われたことや私個人の感想も含めてになります。

## (1) <予習>について

予め、今日やる内容を予習プリントとして行うことで、授業に対する課題意識が生まれていました。教科書と同じ内容であるため、低位の子も安心して授業にのぞめたと思います。「どのくらいさせれば(すれば)?」と話し合われましたが、各学年の発達段階に依じて…としか、今のところ言えないという本校の実態です。予習プリントに、正解を求めるのではなく、わからないことがわかる、ということも大事なことと思います。

## (2) 「教える」について

「言語活動の充実」といった観点にもつながるのだと思いますが、子どもたちは、一般的に説明が苦手です。だから、私たちが教えなければならないのは、「説明の仕方」なのかなと。そうしたところで、黒板での掲示(説明の仕方)が明示してあってよかったと思いました。時間(10分)もベスト!

## (3) 「考えさせる」について

時間をとって充実させることができたと思います。

自分の考えを小黒板に貼らせるというアイデアの陰には、

「貼る前に、友達のと類似比較検討する」という子どもたちの行動が出てきます。見事だなあと感じました。

ここで、「あれ?」とか「おんなじだ」とか学び合いが生まれてくる仕掛けがあるんですね!

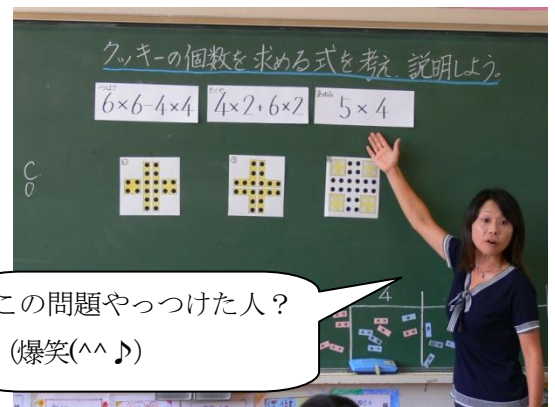
※問題を制限する(適切な表現かどうかは別として) 必要もあるのではないかと話し合われました。

子どもたちに、何を求めるか(たくさん考えてほしいのか、説明することに自信をもってほしいのか)に関わってくる部分だと考えさせられました。

### <授業者への贈り物から>

T君が自分の考えが誰の考えと同じなのかを先生に尋ねたときに、「誰に聞くといいかなあ〜」という切り返し。

教師対子どもの関係から、子ども対子どもの学び合いへつながる支援、さすがですね!! 大事なところと思いました。



◆10月15日(金) 自主公開授業まであと18日…プレッシャーになると悪いので小さくかきます(笑)